

■ドイツ：最も安い料金の値下げ率は基礎的供給料金の値下げ率を上回る

エネルギー系消費者ポータルサイトの2015年6月10日付発表によると、小売競争の活発化によって、最も安価な家庭用電気料金が基礎的供給料金よりも値下げされている。2014年5月～2015年5月の一年間において、最も安価な家庭用料金と基礎的供給料金の値下げ率を比較すると、基礎的供給料金は1%程度であったのに対し、最も安価な電気料金は6%であった（年間消費電力量が4,000kWhの一般家庭の場合）。これにより、基礎的供給料金で供給を受けている一般家庭が他の事業者に変更した場合節約できる年間電気料金支払額は382ユーロとなる。なお、基礎的供給料金とは、各配電エリアで最多の需要家を抱える事業者（基礎的供給事業者）に提供が義務付けられている料金で、供給事業者の変更を行っていない需要家に自動的に適用される。同料金は公表が義務付けられているが、事前認可を必要とするいわゆる規制料金ではない。